

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【公開番号】特開2002-72737(P2002-72737A)

【公開日】平成14年3月12日(2002.3.12)

【出願番号】特願2000-267534(P2000-267534)

【国際特許分類第7版】

G 0 3 G 15/20

G 0 3 G 9/107

【F I】

G 0 3 G 15/20 1 0 3

G 0 3 G 15/20 1 0 9

G 0 3 G 9/10 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月5日(2003.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像情報信号に対応した静電潜像を像担持体に形成し、トナー粒子とキャリア粒子とを有する二成分現像剤を用いて前記静電潜像を現像して未定着画像を形成し、該未定着画像を転写材に転写する画像形成手段と、定着回転体及び加圧回転体を少なくとも有しこれらにより該転写材を挟持搬送して未定着画像を定着させる定着手段とを有する画像形成装置において、

前記キャリア粒子は、バインダー樹脂及び磁性金属酸化物を少なくとも含み、形状係数S F - 1が100～150、S F - 2が100～150の範囲であり、且つ、前記定着回転体は、弹性層とフッ素樹脂よりなる離型層とを有し、1kgの荷重を与えたときのasker-C硬度が60～85°であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記キャリア粒子は重合法により生成することを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記定着手段は、前記定着回転体に接触し、定着回転体の温度を検知する定着回転体温度検知手段を有することを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

【請求項4】

画像情報信号に対応した静電潜像を像担持体に形成し、トナー粒子とキャリア粒子とを有する二成分現像剤を用いて前記静電潜像を現像して未定着画像を形成し、該未定着画像を転写材に転写し、定着回転体と加圧回転体とを有する定着手段により該転写材を挟持搬送して未定着画像を定着させる画像形成方法において、

前記キャリア粒子は、バインダー樹脂及び磁性金属酸化物を少なくとも含み、形状係数S F - 1が100～150、S F - 2が100～150の範囲であり、且つ、前記定着回転体は、弹性層と、フッ素樹脂よりなる離型層とを有し、1kgの荷重を与えたときのasker-C硬度が60～85°であることを特徴とする画像形成方法。

【請求項5】

前記キャリア粒子は重合法により生成することを特徴とする請求項4記載の画像形成方法

。

【請求項 6】

前記定着手段は、前記定着回転体に接触し、定着回転体の温度を検知する定着回転体温度検知手段を有することを特徴とする請求項4記載の画像形成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

この感光ドラム1上のイエロートナー像は、転写ドラム5aに担持された記録材Pに転写される。記録材Pは、原稿画像に適した大きさの記録材Pであり、所定の給紙カセット8aから給紙ローラ8b、搬送ローラ、そしてレジストローラ8c等を介して所定のタイミングで転写ドラム5aに供給されたものである。このようにして供給された記録材Pは、転写ドラム5aの表面に巻き付くように吸着されて矢印R5方向に回転し、転写帯電器5bによって感光ドラム1上のイエロートナー像が記録材Pに転写する。